

増した。また、作業上も障害が少ないため、部分植替を積極的に取り入れるべきである。

また、芝生の縁切りを行うことで花壇が整然とした印

象となった。今後も縁切りを行うとともに、芝生管理業務で行っている芝生除草等を花壇管理業務として一体的に行えば、より効率的な管理が行えると思われる。

表1 平成12年度花壇植物植栽状況

花壇名	春	夏	秋	冬	早春	
大花壇	ペゴニア・センパフローレンス 桃a 白b 赤c (4/21)	ヒメコリウス コリウス " " (6/23)	銅a 黄b 緑×赤c	アキランサス " " フレンチ・マリーゴールド (9/8)	黄a 白b 赤c 黄d 白e (11/16, 17)	パンジー " " アイランドポピー混合 (3/2)
小花壇	ペチュニア " " (4/21)	桃d 桃e 白f (6/23)	銅a 黄b 緑×赤f	アキランサス " " フレンチ・マリーゴールド (9/7)	黄d 赤e 黄f (11/15)	シロタエギク ハボタン " " アイランドポピー混合 (3/2)
カスケード前	ペゴニア・センパフローレンス " " (4/20)	桃g 白h 赤i (6/22)	銅g 黄h 緑×赤i	アキランサス コリウス " " フレンチ・マリーゴールド (9/7)	黄g 赤h 黄i (11/16)	パンジー・'バハラジャ' パンジー " " アイランドポピー混合 (3/2)
大温室横	アゲラタム メランポジウム サルビア・コクシネア (5/19)	青j 黄k 白l	ニチニチソウ(7/11) 混合j	アキランサス コリウス " " (9/5)	黄j 赤k 赤l	スイートアリッサム パンジー サザンクロス (11/18)
展示室前	インパチェンス (4/25)	混合	ポーチュラカ (6/22)	混合 フレンチ・マリーゴールド (9/6)	黄 (11/18)	カレンデュラ(冬知らず) 黄
展示室北	ペゴニア・センパフローレンス " " (4/25)	桃 白 赤	ポーチュラカ (6/22)	混合 フレンチ・マリーゴールド (9/6)	黄 (11/18)	黄
芝生北	メランポジウム (5/19)	黄		キバナセンニチコウ (9/5)	桃 (11/18)	黄
花時計	ポーチュラカ " " ペゴニア・センパフローレンス (5/19)	桃 黄 白		アキランサス ペゴニア・センパフローレンス (9/5)	赤 黄 白 (11/18)	淡青 黄 白

()内は植え付け日を表す

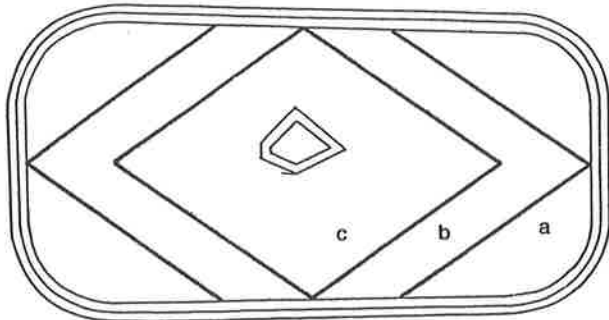


図1 大花壇

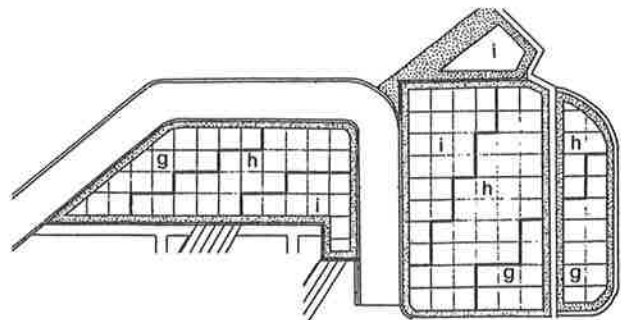


図3 カスケード前花壇

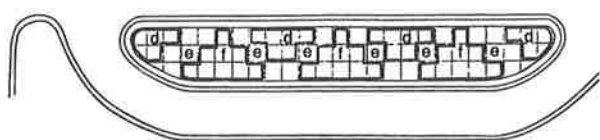


図2 小花壇

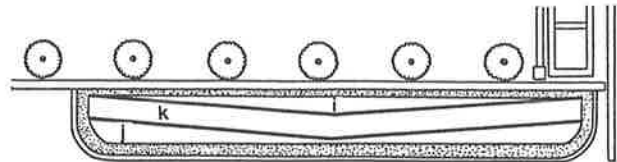


図4 大温室横花壇

表2 平成12年度花壇植物生育状況

植物名	生育状況	評価
ペゴニア・センパフローレンス	良好、7月上旬雨で傷む	○
ペチュニア	不良、雨による傷み顕著、花がら摘み労力多	△
アゲラタム	不良、雨による傷み顕著、6月末撤去	×
メランポジウム	定植直後かん水不足で枯死、乾燥に弱い	○
サルビア・コクシネア	切り戻しにより倒伏回避、夏期の花付きやや悪	△
インパチェンス	良好、6月下旬倒伏のきざし	○
ポーチュラカ	良好、6月中旬から開花	○
ヒメコリウス	発色悪、8月上旬倒伏、雨に強いが乾燥に弱い	○
コリウス	複色生育不良、雨に強いが乾燥に弱い	○
ニチニチソウ	7月中旬定植のため雨による傷みなく良好	△
アキランサス	発色良、草姿が乱れずデザインにめりはりつく	○

植物名	生育状況	評価
フレンチ・マリーゴールド	害虫(ネキリムシ)が発生したが薬散(オルトラン)後おさまる	○
キバナセンニチコウ	良好、風による倒伏少	○
パンジー	厳寒期(1月)の花付き悪	○
ハボタン	発色良く目立つ、チリメンより丸葉が良い	◎
シロタエギク	ハボタンとの相性良、華やかさに欠ける	△
スイートアリッサム	花付き悪、寒さで傷む	△
サザンクロス	発色良	○
ビオラ	厳寒期(1月)の花付き悪、49株/・つめすぎ	○
カレンデュラ(冬知らず)	良好、4月中旬倒伏	○
アイランドポピー	華やかさに優れる、3月中旬以降花付き良	◎

◎:有望、○:十分使用可、△:時期、場所を選べば使用可、×:使用不可